

第3回山形県津波浸水想定・被害想定検討委員会 議事概要

- 1 日 時 平成27年6月5日（金）午後2時15分～3時30分
- 2 場 所 鶴岡市温海庁舎温海ふれあいセンター多目的ホール
- 3 出席委員 今村委員長、澤委員、長谷見委員、八木委員、安久津委員、長谷川委員、桐山委員、菅原委員、白田委員、上坂委員
- 4 議 事
 - (1) 第2回委員会における意見への対応について【報告事項】
 - (2) 津波浸水シミュレーションの計算条件について【協議】
 - (3) 被害想定 of 計算条件について【協議】

【主な意見等】

- 浸水想定において考慮する海岸堤防等の施設については、公表に際して、いつ時点の施設の状況かを明確にしてほしい。
- 海拔0m地域はないとのことだが、資料には地盤変動の考え方が示されている。沈下はしないのか。
- 最近の学会では、平成26年8月に政府が公表した津波断層モデルを過小評価だとする意見が公表された。そのため、当意見の内容を検討したうえで、当検討委員会の結果を取りまとめるべきだ。
- 想定する季節、時間帯について、冬の深夜の風雪や凍結のキーワードを追加した方がいい。
- 急傾斜地崩壊危険度の想定において、震度分布を明示してほしい。
- 地震の振動による被害を想定する場合、浸水想定と同様にパラメーターの設定が問題になるのではないのか。
- 液状化危険度の想定において、過去の液状化履歴は参考にしないのか。
- 防風林の流出、酒田大火のような火災発生など、地域の特性を踏まえた想定が重要と考える。
- 寒冷地モデルの設定にあたっては、内陸部と沿岸部に分けて設定できないか。